

各位

令和元年 秋の褒章において山海嘉之社長が紫綬褒章を受章

当社（本社：茨城県つくば市）の代表取締役社長である山海嘉之氏は、この度、令和元年 秋の褒章において紫綬褒章を受章することになりましたのでお知らせいたします。

【紫綬褒章について】

紫綬褒章は、科学技術分野における発明・発見や、学術及びスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げた個人に授与されます。

当社代表取締役社長である山海嘉之氏は、サイバニクスという人・ロボット・情報系が融合した新領域の開拓に挑戦し続けてきました。特に、世界初の装着型サイボーグは、脳神経系とロボット・情報系が一体的に融合した革新的技術として実現され、医療・福祉・生活分野において、脳神経系疾患に対するサイバニクス治療や、介護や重作業の支援技術として、国内外で活用されるようになり、着実に社会実装を実現してきました。このような科学技術分野における取り組みに対して、人間医工学研究の功績として高く評価されることになりました。

【山海嘉之氏のコメント】

令和元年の紫綬褒章という栄に浴し、身に余る光栄に存じます。長年にわたり、人とロボットと情報系が融合した「サイバニクス」*という新領域を学術として開拓して参りました。代表的な研究成果として、脳神経・筋系からの生体電位信号によって人とロボットをつなぐ世界初の「装着型サイボーグ HAL」を実現し、脳神経・筋系疾患に対するサイバニクス治療や、高齢者の自立支援、工場などでの作業支援を実現する技術を社会実装して参りました。

筑波研究学園都市発の技術が、日本だけでなく米国、欧州、アジアでも展開しており、ひとつの医療基盤になろうとしております。

令和元年は、ロボット産業やIT（情報技術）産業に続く「サイバニクス産業」元年になるものと考えております。こうした研究成果をさらに広く社会に展開し、人や社会が抱える様々な課題を解決しながら未来開拓に挑戦し、社会に貢献して参りたいと存じます。

ご支援くださいました皆様に、心から感謝し御礼申し上げます。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

* 「サイバニクス」とは、Cybernetics(人工頭脳学)、Mechatronics(機械・電子工学)、Informatics(情報学・IT・ビッグデータ処理等)を中心に、脳・神経科学、行動科学、ロボット工学、情報技術 (IT)、人工知能、システム統合技術、生理学、心理学、哲学、倫理、法律、経営など、「人・ロボット・情報系の融合複合分野」を扱うことを目的として構築された新しい学術領域のことです。

【山海嘉之氏の略歴】

現在

- ・ CYBERDYNE社（サイバーダイイン社） 代表取締役社長
- ・ 筑波大学システム情報系教授・サイバニクス
研究センター 研究統括

1958年 岡山県生まれ

1987年 筑波大学大学院修了 工学博士

2004年 筑波大学システム情報系教授（現任）
サイバーダイイン社創設者

2009年 筑波大学サイバニクス研究センター センター長

2010年 内閣府 FIRST 研究統括

2014年 内閣府ImPACT革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー
サイバーダイイン社上場

2017年 筑波大学サイバニクス研究センター研究統括（現任）

**【山海嘉之氏の主な受賞等】**

2005年 「The 2005 World Technology Award大賞」

2006年 「グッドデザイン賞金賞」「日本イノベーター大賞優秀賞」

2007年 「経済産業大臣賞」

2009年 「平成21年度全国発明表彰 “サイボーグ型ロボット技術の発明” 21世紀発明賞」

2011年 「NetExplorateurs of The Year 2011」（フランス ユネスコ本部）

2012年 「Capek Award」（INNOROBO）

2013年 「The 2014 Technology Pioneer」（世界経済フォーラム／ダボス会議）

2014年 「2014 Edison Awards 金賞」

「DealWatch Awards 2013, IPO of the Year(トムソン・ロイター)」

2015年 「文部科学大臣表彰 (科学技術賞)」

「DealWatch Awards 2014, Innovative Equity Deal of the Year(トムソン・ロイター)」

「経済産業大臣賞」

「経営者賞」

2016年 「DIA Japan Outstanding Contribution to Health Award」

「ロボット大賞 厚生労働大臣賞受賞」

2017年 「内閣総理大臣賞」（日本ベンチャー大賞）

2019年 「文部科学大臣賞」（技術経営・イノベーション賞）

「市村産業賞 貢献賞」

2019年 「紫綬褒章」

以 上